

KVBC会社見学、納涼会を開催

去る8月20日、KVBC恒例の夏の納涼会が開催されました。納涼会に先立ち、赤外線技術を核にセキュリティ用センサ、自動ドア関連製品を開発・製造するオプテックス(株)を訪問。同社の櫻井執行役員、神供部長、駒井課長より説明をいただきながら、最先端のセンシング技術について知見を広げました。



赤外線技術の活用で安心・安全・快適なシステムを提案 ～オプテックス(株)

多様化する防犯市場に応えるユニークな製品

「オプテックス」は、それまで軍事や医療分野に限られていた遠赤外線と近赤外線の技術をコア技術として、1979年にスタートした会社です。主な事業分野は、(1)セキュリティ(防犯)、(2)自動ドア、(3)産業機器、(4)環境監視の4分野に分かれており、それぞれ画像・通信・制御技術を活用して、人体及び物体の検知システムの開発、設計、製造販売を手がけています。



オプテックス(株)櫻井執行役員

中でも、セキュリティ関連の市場ニーズはますます多様化しつつあります。当社では、警備保障会社などに画像監視システムを提供しているほか、屋外用のセンサライトやテレビ・ドアホンなど、一般家庭でもご利用いただける防犯システムを開発・販売しています。また、「犯罪をいかに未然に防ぐか」ということにも焦点を当て、侵入者を催涙ガスで撃退するシステムや音で威嚇する警報装置など、ユニークな製品が好評を得ています。セキュリティ関連機器は今後の成長が最も期待できる分野です。私たちもこれから積極的な新製品投入を進めていきたいと考えています。

世界初への挑戦でセンシング業界をリード

もう一つの事業の柱が、自動ドア分野です。かつて、自動ドアといえばゴムマット型センサを踏んで開閉するという“感圧式”が主流でしたが、当社は世界で初めて赤外線による自動ドアセンサを開発。まるで、ドアボーイがいるかのような、快適でインテリジェントな出入り口環境の創出を目指しています。また商店街などでは、自動ドアの前を通行する歩行者に反応してドアが開閉することがあるので、新たにタッチ式のドアセンサを開発しました。このように私たちは、常に社会ニーズを取り入れた技術革新に取り組んでいます。



商品説明をする神供部長

産業機器分野では、光電センサや色面積センサなど、工場の生産現場における管理自動化に貢献する製品を幅広く用意しています。また、非接触で物体の表面温度を測定できる非接触温度計は、厳格な衛生管理が要求される食品の温度測定などに最適です。

そのほか、環境監視分野では、水の透明度を調べる透明度自動測定システムを世界で初めて開発しました。現在では琵琶湖の南湖と北湖に1基ずつ設置され、滋賀県庁前の電光掲示板に透明度や水温の情報が表示されるようになっています。今後は、県内だけでなく、環境保全の一端を担うエコ製品として一般工場などにも広く普及させていきたいと考えています。

グローバルな視点で独創的な技術を生み出す

当社の事業特色は大きく分けて4つあります。まず1つ目は、「創造性重視型企業」であるということ。つまり、クリエイティブな仕事をしようということです。オプテックスでは福井県や滋賀県長浜市に協力工場がありますが、自社の製造工場を持っていません。製造のほうは協力工場にお任せして、私たちは企画や開発、マーケティングに専念できるというメリットがあるのです。

2つ目は、「コア技術を専門分野に特化する」ということ。私たちは、もともと軍事や医療技術だった赤外線技術にいち早く注目し、いずれ民生用に応用されるだろうと考えました。この赤外線技術をコアに据え、セキュリティや自動ドアなど4つの事業分野に特化したのです。

3つ目は、「グローバル経営」です。当社では、オフロム(株)やサンオクト(株)、オプテックス・エフエー(株)など国内の開発・製造・販売会社のほかに、アメリカやイギリス、フランス、ポーランド、韓国、台湾、香港など世界各国に製造・販売拠点を設けています。当社の売り上げの65%が海外市場であり、セキュリティ用の室内センサや自動ドアセンサの出荷台数は世界トップシェアを占めています。



玄関ホールにある商品展示

製品の信頼性を高めてブランド力を強化

最後は、「高信頼性のブランド」です。当社は世界各国にある販売子会社のほかに、原則として「1カ国1代理店」制を導入しています。現在では、50カ国以上の海外現地法人や代理店とのネットワークのもと、さまざまな気候風土や文化の異なる環境下でも製品が耐えられるように何度も繰り返し実験を実施。当社のブランド力と製品の信頼性を高める努力をしています。

2003年度の当社の売上高(連結)は151億円。今年度は189億円を目指しています。できれば、毎年20～25%の成長を目指して、果敢にチャレンジしていきたいと考えています。私たちの企業理念は、「未来への創造集団として、IFCSの快適生活に挑む」ことです。IFCSは、個人・家族・会社・社会の英語頭文字)。これからも技術や品質の向上に磨きをかけ、産業・社会のニーズに即した“新しい価値”を実現できる企業を目指したいと考えています。ぜひ、KVBCの皆様のご協力とご支援をお願いしたいと思います。

●オプテックス株式会社

住所 | 滋賀県大津市雄琴5丁目8-12

電話 | 077-579-8000

FAX | 077-579-7100

URL | <http://www.optex.co.jp/>

創立 | 1979年5月25日

資本金 | 26億6,625万円

事業内容 | 各種センサ及び同装置に関する各種システムの開発、設計並びに製造販売

参加者の声

(株)ケルクセキュリティシステム 仲氏

「オプテックス」とのおつき合いは、創立メンバーが前の会社に居たときからで、そのプロセスはよく知っています。特に印象的なことは、設立1年目は無給で働かれたことです。給料を出すすぐに資本金がなくなるからで、失業保険と貯金で生活されたということです。資本金を1年間は給料に使わず、開発に使って早く売り上げをつくる目標があったからです。売り上げのない時は何でも受注するものですが、成功の秘訣には、とにかく一品ものは受注せず、量産品に徹底した開発をしたことや、遠赤外線センサが市場になかったため、価格のリーダーシップを自社で決められたことがあります。運があったから成功したのも真実。運も実力のうち、運はプラス思考と非凡さをトップがいつも持てば、新しい「オプテックス」ができるのではないのでしょうか。

関西フジタカサービス(株) 河合氏

今回訪問させていただいた「オプテックス」で感じたことは、生産と物流をアウトソーシングすることにより、企画・開発・マーケティングに力を注げるという点です。生産管理も大変だと思いますが、素晴らしい会社だと感じました。自分自身も元々技術者なので、センサ技術についても勉強になりました。今後も、ユニークな会社訪問の企画をよろしく願っています。

(株)旭テクノプロデュース 山中氏

今回の企業訪問をして気づいた点は、ベンチャー企業が大きくなるには、ニーズに大きなチャンスがあり、それを逃さず、技術改良や品質の安定・生産量の確保ができたことが、成長の要因と思われた。

今後のKVBC活動に望むのは、懇親会ではなく、サロニックな気楽な昼食会だとか、朝食会・アフターヌーンティーなどの集まりを企画してほしいということです。食事をしながら、近況報告や新製品情報などの情報交換などできたらと思います。

ミシガンにて琵琶湖・湖上遊覧を満喫!

「オプテックス」会社訪問の後、滋賀・大津港よりミシガンにて湖一周へ出発。夕焼けから夜景へと変化する湖の景色が楽しめる豪華版、陽気なアメリカンスタイルの船内でのディナーやショータイムに、参加者の皆様も大満足の様子でした。



船内にてショータイム



新入会員(株)関西フジタカサービス(株)とエクセレンス(株)様



船内でのディナータイム

□

□

□